

## 「令和5年度 市民トーク」開催結果（細江地区）

---

以下のとおり結果を報告します。

### 1 日時等

- (1) 日 時 7月24日（月） 午後7時00分～午後8時30分
- (2) 会 場 細江コミュニティセンター
- (3) 内 容 市長からの市政報告・地区からの質問
- (4) 参加人数 48人

### 2 市長からの市政報告

当日の配布資料を添付

### 3 地区からの質問

別紙のとおり ※事前質問は回答書を配布・当日の会場での質問あり

### 4 当日の様子



	質問	回答	担当課
1	<p>・牧之原市の人口減少歯止め策として安心安全なまちづくりは欠かせないが、L2防潮堤の整備や河川治水対策に十分な費用がかけられていない。公園など憩いの場もほとんど無い。茨城県境町のようにTVに取り上げられるような成果をあげている町や、焼津市のようにふるさと納税で成果を上げ始めている市と比べて策が乏しいと感ずるが、安全・安心なまちづくりに必要な財源拡大策についてどのように考えておられるのか説明をいただきたい。</p> <p>・新たな市設備（いわゆるハコ物）が相良地区に集中しているが、市内に均等に配置するのが筋です。今後、細江地区には計画があるのか？</p> <p>・地方基盤整備において、細江・川崎・静波・勝間田地区の整備が行われていないのはなぜか？多くの基盤整備で相良地区が中心になっている事について納得がいかない。細江、静波、川崎、勝間田、坂部地区で牧之原市総人口の45%を占めるにも関わらず、住民が夢を抱くような、基盤の整備がこの地区に行われないのはどういう事が、詳細な説明を求めたい。</p> <p>①相良地区：ミルキーウェイクエア・IC北側高台開発・多目的体育館                  ②坂部地区：道の駅建設                  ③細江、川崎、静波、勝間田地区：なし</p>	<p>ご質問にあります、「事業が相良地区に集中している」、「細江住民が夢を抱くような基盤の整備がない」とのご意見ですが、市といたしましては、その時々ニーズ、状況に合わせて、市として必要なところに必要なものを考え、総合的に実施しています。</p> <p>住宅地などの基盤整備、土地区画整理については、旧榛原町のなかで、細江・中槍地区が一番初期に実施されております。細江地区は古くから市街化が進んでおり、市街地での区画整理は、既存居住者の負担が大変大きく、また、時間と莫大な費用がかかるなど採算性や事業性に課題があることから、山の手幹線、細江1号幹線、細江2号幹線、細江中央幹線といった主要な都市計画道路の整備に重点をおいて進め、その結果、TDKの跡地や、細江の杜、山の手幹線沿いの宅地分譲開発など、多くの民間宅地開発が進みました。現在もニーズの高い地域であります。</p> <p>このような住宅地の多い細江地区について、浸水対策が一番の課題であり、市でも重きを置いて整備をしております。先ほどの説明にもございましたが、準用河川の沢垂川は令和2年より整備を進め、今年度は、坂口谷川の合流点の工事を行います。</p> <p>また、防潮堤の整備につきましても、細江地区が市内でも一番進捗が早く、今年度よりL2防潮堤の整備に着手しております。</p> <p>公共施設として最大の施設であります、榛原総合病院や牧之原警察署など利便性の高い細江地区を活かした、牧之原市の核となる施設が立地する地区と考えております。</p> <p>財源の確保につきましては、先ほど説明させていただいた通りでございます。</p> <p>最後に現在、進めている学校再編計画により廃止予定となる細江小学校の跡地を、地域のために活用した活性化策を皆さんと一緒に検討してまいります。</p>	秘書政策課
2	<p>・原発について今の市長の考えを教えて欲しい。</p> <p>・原子力発電所をどうしたいかはっきりして欲しい。</p>	<p>原子力政策は国策であるため、国が責任をもって対応すべきものと考えております。</p> <p>現在、浜岡原子力発電所は、新規制基準の適合性確認審査中であり、再稼働の判断につきましては、国がルールを作成し対応するべきものであると考えております。</p>	危機管理課
3	<p>リニア、水に関しての市長の考えはどうか教えて欲しい。</p>	<p>リニア中央新幹線については、国家プロジェクトとして進めているもので、静岡県においても、川勝県知事からリニア賛成、推進していくことが示され、沿線9都府県（東京都、神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、奈良県、大阪府）で構成していた「リニア中央新幹線建設促進期成同盟会」に、昨年（2022）令和4年7月14日に加盟しました。</p> <p>水に関する問題については、国の有識者会議や県の専門部会で、科学的、工学的に議論されており、令和3年12月に国の有識者会議から「大井川水資源問題に関する中間報告」が出されており、JR東海がトンネル湧水を導水路トンネルとポンプアップにより大井川へ戻すことで表流水が維持されれば、中・下流域の地下水への影響は極めて小さい、との結論が示されております。</p> <p>また、工事中の湧水を大井川に戻す田代ダム抑制案についても議論が進んでおり、この実現も安心材料の一つと受けとめております。</p> <p>JR東海は、示した保全対策を確実に履行するとともに、水資源への影響について流域住民の理解を得る必要があると考えています。</p> <p>更に、国（国土交通省鉄道局）は、国家プロジェクトとしてJR東海に保全対策を確実に履行させると共に、想定外の事態への対応を担保する必要があると考えています。</p> <p>引き続き、リニアと水に関するJR東海、国との協議については、県、利水団体、流域8市2町が連携して対応してまいります。</p>	秘書政策課

	質問	回答	担当課
4	防犯カメラを増やして欲しい。	<p>現在、市が管理をしております、庁舎施設、学校施設、文化施設、子育て施設、保健福祉施設等に、107基の防犯カメラを設置をしています。</p> <p>防犯カメラの映像は犯罪発生時の証拠となるほか、犯罪の発生そのものを抑止する効果があります。一方、設置についてはプライバシー上の問題をはじめとする十分な検討が必要となります。</p> <p>自治会で、防犯カメラを道路等に設置する場合は、設置場所について立ち合いや、近隣住民の了承、管理上の取り決めなどさまざまな手続きが必要となります。</p> <p>ご質問の防犯カメラの増設につきましては、何処に設置したいのか等の具体的な内容の記載がないことから、設置場所等を整理していただきご相談いただければと思います。</p>	危機管理課
5	公式ラインでごみの日や同報無線で聞き取れない放送がわかるので助かっている。	<p>当市の公式LINEは、令和2年から活用を開始しており、令和3年には、より便利で快適にご利用いただけるよう、機能のリニューアルを行いました。</p> <p>市公式LINEは、市政やイベント、災害時の防災情報などの情報配信や、子育て応援サイトやごみカレンダーにも簡単にアクセスすることができます。</p> <p>ご意見にあるとおり、同報無線とも連携しており、災害時の緊急情報も提供していることから、災害等緊急時の情報収集ツールとしてもお役立ちいただけるものとなっています。</p> <p>また、他の情報伝達手段に比べ、メッセージが読まれやすい「プッシュ通知機能」や自分が必要とする情報を受け取ることができる「セグメント配信機能」等を有しています。</p> <p>今後は、これらの機能を活かしながら、内容等一層の充実を図り、多くの市民の皆さまにご利用いただけるよう取り組んでまいります。</p>	情報交流課
6	<p>・5/15に開催された坂口谷川水系整備状況説明会において、時ヶ谷町内会を流れる水浴川と農業用水路に挟まれた地域の河川氾濫対策について質問した際に、農業用水路の管理については建設課の範疇に無いので、市に戻り関係者と相談していただけたことであったが、その話し合いの結果、どのような結論を得たのか説明をして欲しい。</p> <p>・大井川用水の水路の水が雨・台風時にあふれ出すので、用水路を何とかして欲しい。</p>	<p>坂口谷川水系整備状況説明会において出た質問については、建設課からお茶振興課に報告を受け、農業用水の管理者である大井川土地改良区と協議を行いました。</p> <p>現在でも大井川用水は、大雨が予想されている際や台風接近時には用水本線の通水を停止する運用を行っています。</p> <p>また、大雨が予想された際に、西之谷放水口を開けていますが、同時に道路雨水などが流入してしまう用水本線側の水門も開いたままの状態となっています。</p> <p>過日の坂口谷川水系整備状況説明会での質問を受け、大井川用水西之谷放水口での放流運用を見直す方向で調整をしています。</p> <p>今後は、西之谷放水口を開ける際には、下流域に影響のある用水本線側の水門は閉めることとし、安全な用水運用が出来るように、大井川土地改良区と協議を行っていきます。</p>	お茶振興課

	質問	回答	担当課
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坂口谷川水系河川整備計画の中へ「細江地区浸水対策について白羽川、沢垂川、中槍川、浜田川、東福田町内地先の各流域別に具体策、実施策を「いつまでに何をやるのか」のロードマップを明示して欲しい。</li> <li>・ 5/15に細江区浸水対策の説明会があったが、河川の支流や排水溝などにおいては、大雨時に排水しきれない。そのため、排水ポンプの設置や設置方法の改善をして欲しい。排水溝を含めて検証する必要がある。</li> <li>・ 川（河）の工事を速やかに進めるようにお願いしたい。</li> </ul>	<p>3つのご質問は関連がありますので、一括してご回答させていただきます。</p> <p>細江地区の浸水対策につきましては、静岡県ホームページ等で公表されております「坂口谷川流域治水プロジェクト」及び「坂口谷川水災害プラン」の中でロードマップを示しております。</p> <p>静岡県が管理する二級河川坂口谷川につきましては、河川整備に基づき、令和6年度完成に向けて河口に水門を整備しております。</p> <p>また、国道150号付近から河川断面の確保、護岸の補強のため、河床掘削や管理道の舗装等の河川改修を行い、佐々木橋付近まで完了して完了済みです。今後、数年で、坂部地区の東名高速道路付近までの整備が完了する予定であると伺っております。</p> <p>市におきましては、令和2年度から沢垂川の改修工事に着手しており、令和18年度までに榛原総合病院付近までの改修工事を予定しております。</p> <p>また、東福田町内会の井上橋下流の右岸側の水路では、令和8年度までに排水ポンプを増設し、排水能力を2倍にする予定しております。</p> <p>さらに、浜田都市下水路につきましては、自動車学校付近の坂口谷川合流点にポンプ場を整備する計画がありますが、整備する時期は未定のため、応急対策といたしまして、平成30年度に、青池地区の「フルカワナワテ」と呼ばれる、大雨時に冠水する市道の側溝に逆流防止のためのフラップゲートを設置いたしました。</p> <p>その他の河川改修については、沢垂川の改修工事完了後に着手する予定ですが、実施までには長期の年月を要することから、現時点では具体的な時期はお示しすることができません。</p> <p>最後に、河川内に堆積した土砂の撤去や樹木の伐採については、状況を確認しながら、今後も随時実施してまいります。</p>	建設課
8	<p>水害対策として側溝清掃は必要だと思うが、地域清掃では限りがある。側溝清掃車の手配は出来ないか？</p>	<p>側溝清掃などの道路愛護運動については、地区の高齢化などによって作業ができず、地区の清掃だけでは困難という意見が他の地区からも出ております。</p> <p>市としても深刻な問題であると認識しており、令和4年8月の自治会行政連絡会において、各地区での愛護運動実施状況や地区で対応が困難な場所について調査を行い、側溝蓋の上げ下げや、道路上の樹木の伐採、河川や排水路の浚渫等を実施することが困難であるとの回答をいただきました。</p> <p>この調査をもとに、現在検討を進めている内容としましては、毎年同じ箇所の側溝清掃をするのではなく、堆砂の状況を確認し、土砂が少ない箇所については年ごとにローテーションで実施するなどの施工箇所の検討や、ご質問の側溝蓋を開けるところなくジェット水流により押し流したうえでバキュームにより吸い取るなどの施工方法の検討もしているところであります。</p> <p>財政的な面も含め、地域の皆様の負担軽減に向けた改善策を検討しておりますので、来年度からの実施に向け、今年度中に自治会行政連絡会を通じて皆様にお知らせするよう進めてまいります。</p>	建設課

	質問	回答	担当課
9	<p>・昨年度、青池11号線の白線の引き直しとグリーンベルトの設置を要望したところ、白線は令和5年度中に引き直すという回答をいただいた。できるだけ早い時期の作業をお願いしたい。しかし、グリーンベルトについては学校再編により通学路の変更が予想されるので不可と言われた。</p> <p>学校再編までは6年あり、その間も通学路として使用する道路である。青池11号線は道が狭いわりに交通量の激しい道路。事故が起きてからでは遅いので、せめて青池11号線から細江小学校に入るT字路付近だけでもグリーンベルトにして欲しい。</p> <p>・道路外側線の施工をお願いしたい。</p>	<p>細江111号線(150号(コメダ)から細江1号幹線)につきましては、令和5年3月に要望書を提出していただき、白線につきましては、先日業者に依頼したところであります。グリーンベルトにつきましては、先に要望がありました細江小学校東側(コスモス薬局裏側及びその南側の歩道橋から小学校)区間を令和6年度より実施を予定しております。細江111号線につきましても実施の検討をしております。</p> <p>外側線の施工につきましては、具体的な場所がわかりませんが、提出されている要望書以外の場所がありましたら、要望書を提出していただきたいと思っております。</p> <p>細江区以外の区からも要望書が提出されているため、交通量や危険度などを考慮しながら実施の検討をしております。</p> <p>令和4年度の区画線の実績は約5.5kmでしたが、区画線は自動車や歩行者の安全を確保するために大切でありますし、最近の車には、白線を認知する機能も付いていることから、市も今以上に予算の確保に努めていきたいと思っております。</p>	建設課
10	<p>細江小学校の卒業生として、また孫の通う学校として、統合され今の小学校が無くなることは許されない事。将来の細江が無くなることを自覚して欲しい。</p>	<p>榛原地域、相良地域に1校ずつの義務教育学校を新たに設置することへのご意見をいただきました。</p> <p>牧之原市の小中学校は、どこの学校も、地元の学校として、地域の皆様とともに歩んできた歴史ある大切な学校です。</p> <p>しかし、近年、全国的に、少子化や施設の老朽化が大きな課題となっており、それは牧之原市も例外ではありません。牧之原市では、8年ほど前から持続可能なまちづくりを目指し、公共施設の適正化計画の策定に取り組んできました。</p> <p>その中の方向性の一つとして、「学校の再編を検討する」ことが打ち出されました。しかし、学校施設については、子どもたちの数や施設の老朽化のみで学校を再編するのではなく、これから生きる子どもたちが、学び・育つ場所としてどのような教育環境が望ましいかを議論し、その結果により、必要な学校の形態を導き出したいと考え、まず、「望ましい教育環境のあり方」を検討しました。</p> <p>検討の結果、これからの社会を生きる必要な力である「次代を切り拓く力」を育むため、キャリア教育を軸とした小中一貫教育とコミュニティ・スクールを進めることが方針として決まりました。その教育環境を実現するためには、クラス替えができ、1～9年生が共に学ぶことができる学校を再編してつくる必要があると、学校再編計画の検討を始めました。</p> <p>検討の過程では、望ましい教育環境の検討から学校再編計画策定までに、市民参加機会119回、参加人数延べ4,300人以上、意見数は5,000件以上と、広く市民の皆様のご意見をいただくことができ、計画に反映させることができました。</p> <p>今後も引き続き、市民参加の機会をつくるとともに、学校づくりの進捗状況を随時皆様にお知らせできるようにしていきます。</p> <p>また、細江が無くなることについては、現在、細江のコミュニティ活動は自治会を中心に行われており、学校が再編されても区が再編されるものではありません。子どもたちも今まで同様、放課後や休日は地元におりますので、引き続き、活発なコミュニティ活動をよろしくお願いいたします。</p>	学校再編推進室

	質問	回答	担当課
11	<p>回覧板のデジタル化について。                      現在、市役所及び関連団体からの回覧物が多くあるが、町内会、班・組出の配布が相当な負荷となり、また多くの時間を要している。                      牧之原市のデジタル化推進基本計画には、自治会の回覧物のデジタル化は含まれているか？</p>	<p>市のデジタル化推進基本計画には、「地域社会におけるDXの推進」という柱があり、その中で「全ての人々がデジタル化のメリットを享受できる地域社会の実現」を目指しております。                      回覧物のデジタル化につきましては、現在、希望する区へ行政連絡会の資料データの提供を行っており、SNSを通じて、市や区の情報をまとめ、提供している区もあります。                      市におきましても、紙の回覧物を減らす取組みを進めるとともに、市のホームページや公式LINE等を活用し、市民への情報提供を進めてまいります。                      また、全ての人に必要な情報が行き届くよう、高齢者向けのスマホ講座を開催するなど、情報格差対策に努めてまいります。</p>	デジタル推進課 地域振興課
12	<p>細江コミュニティセンターにおいて、各会議室の使用は有料であるが、体育室は無料である。ほかの地区の体育館も無料と伺っている。                      なぜ無料なのか知りたい。                      体育室を使用すれば、床が傷んだり壁が傷んだりする。こうした修理費を賄う財源の一部として使用料を徴収するべきではないか？                      市に金がないならば、なおさら有料にするべきではないか？</p>	<p>屋間無料とした経緯は、平成26年10月までは照明の使用の有無にかかわらず、1時間420円の使用料を徴収していましたが、他の体育施設が、牧之原市民で照明を使用しない場合は無料であったことから、細江コミュニティセンターの体育室も他の体育施設同様に平成26年11月から無料にしています。                      市民皆さまには、他の社会体育施設と同様に、細江コミュニティセンターの体育室をご利用いただき、スポーツ振興及び健康増進、青少年の健全育成を図っていただくことを目的として現在の料金体系となっております。                      今後とも適正な維持管理に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。</p>	管理検査課
13	<p>牧之原市役所の各部署のメールアドレスについて。                      令和5年度になってから各部署のメールアドレスが変更されたが、提出書類等、各部署にメールに添付送信する際、アドレスが開示されていない不便さがある。（旧アドレスでしばらくは送れるので大丈夫と聞いたが・・・）                      市役所ホームページ上での問い合わせメールは、文字数、添付等ができない。                      各部署のメールアドレスを開示していない理由はなぜか？</p>	<p>市のメールアドレスにつきましては、迷惑メールやスパムメール対策として、原則としてホームページでの一覧表示は控えております。                      一般から各課への連絡・申請等につきましては、お問合せメールやフォーム入力等の活用を想定しておりますが、ご指摘のとおり、文字数制限や、添付が付けられないという不便な点もありますので、迷惑メール等の必要な対策を講じて、ホームページへの全課のアドレス掲載を検討していきます。</p>	管理検査課
14	<p>9月の総合防災訓練も近くなってきたが、例年、無線機（トランシーバー）の不具合で通信がうまくいかないため、早急な対策をお願いしたい。</p>	<p>各区に配備をしております、簡易無線機の維持管理等につきましては、各区において、市の補助金「防災資機材整備事業費補助金」又は「自主防活動支援事業補助金」を活用していただき、対策をしていただくように全区のみなさんへご説明をしております。補助金をご活用いただき、計画的な無線機の更新を実施していただくようお願いいたします。</p>	危機管理課
15	<p>・道を夜歩くと、真っ暗な場所がかなりあるが、川に落ちたり、側溝にはまったりしないような、市主導の対策、取りまとめをお願いしたい。                      ・街灯を増やして欲しい。</p>	<p>道路や河川で転落防止柵が必要な箇所、側溝の蓋が必要な箇所などの具体的な危険箇所があるようでしたら、一度建設課までご相談ください。                      また、夜間における防犯対策として、各自治会が設置し維持管理を行う防犯灯については、設置事業費補助金により設置を支援しております。                      来年度の設置基数の要望調査を毎年9月頃に各町内会を対象に実施しますので、各町内会でご相談をお願いいたします。</p>	危機管理課

	質問	回答	担当課
16	<p>AEDは、現在各区コミュニティセンターまでは設置され、町内会（公民館）の段階では逆にほとんど設置されていない状況となっている。                      その必要性は言うまでもないが、設置されない主たる理由は、経費にあり躊躇してしまう。                      AEDは万が一に使用するものであり、使用度合いは極めて低いことを承知しつつも、設置されることによる安心感をはじめ、直接目に触れることにより使用方法の訓練の必要性の認識や、危機意識・防災意識の向上にも役立つのではないだろうか。                      現在設置されているリースの箇所も対象に加え、設置を希望する町内会に対して、その費用の半額程度の補助金をお願いしたい。</p>	<p>細江コミュニティセンターや市役所庁舎などの公共施設に設置されているAEDにつきましては、市役所の管理検査課など施設管理を担当する課でリース料を支払い設置しております。                      町内会のAEDの購入又はリースにつきましては、各区に毎年度交付しております、防災資機材整備事業費補助金、（事業費の2/3補助、各区限度額有り）が活用できます。購入又はリースでの取得をご検討の場合は、危機管理課へご相談ください。</p>	危機管理課
17	<p>静岡空港RESA拡張の工事説明会に、細江区を入れなかった理由を知りたい。                      RESA拡張建設工事が3月から始まった。これに先立ち、R3.12月に坂部地区、島田市坂本地区、吉田町地区で説明会が開催された。                      この説明会になぜ細江区が含まれなかったのか知りたい。                      細江区は坂口谷川の下流域にあり、空港で地下に含まれなかった雨水は、坂口谷川に流れこむ。                      こうした工事説明会において、坂口谷川の下流域である細江区を外したことは看過できない。                      県土木事務所の管轄であるが、市としても関与しなければならない事案である。                      なお、坂部区民センターで開催された説明会は、第1回から第3回まで開催されている。                      「川の上流域は下流を思い 下流は上流域の思いに感謝する」開発にあたる鉄則である。                      こういう思いで説明会を開催して欲しい。</p>	<p>RESA工事は、滑走路延長に係る盛土工事であり、施工箇所である坂部地区と、空港に隣接する勝間田区の切山下、切山中、勝田上町内会を対象に、県土木事務所主催で説明会を開催しました。                      今回、ご意見をいただきましたので、県島田土木事務所に説明会を要請しました。具体的な開催希望がございましたら、市の地域振興課までご連絡をお願いいたします。</p>	地域振興課
18	<p>静岡空港利用時の牧之原市民への助成はあるか知りたい。</p>	<p>現在のところ、個人に対する助成はありませんが、富士山静岡空港利用促進用議会の団体助成や企業サポーターズクラブ入会企業に対するキャッシュバックがございますので、上手に活用していただければと思います。                      団体助成は、産業経済団体や文化スポーツ振興団体等が実施する交流拡大を目的とする事業に対し上限30万円の助成があります。また、企業サポーターズクラブでは、企業の利用に対し4千円のキャッシュバックがあります。</p>	地域振興課
19	<p>昨年開催された「牧之原市自治基本条例施行10周年記念シンポジウム」など、ファシリテーターを市が使う事が増えているようだが、中立でなければならないファシリテーターが、配慮に欠いた運営をされることもある。                      市の会議であれば、進行は職員で務まるはず。進行の素人だから下手でも構わないと思うし、手作りの会議であれば問題ないと思う。                      本当にファシリテーターは必要か？</p>	<p>牧之原市は、市が誕生してから、「市民参加」「市民協働」という市民を主役にした「対話と協働のまちづくり」をすすめてきました。                      行政側からの説明、会場から質問をいう一般的な会議進行で、発言がしにくい、発言ができないという意見が多く、参加人数が減っていった時期がありました。そのような中で、男女問わず高齢者も若者も、誰でも気軽に楽しく参加出来るような対話の場を作り、男女協働サロン、自治基本条例の策定、津波防災まちづくり計画など、多くの対話の場を積み上げて来ました。                      この場を運営してきたのが、“市民ファシリテーター”の皆さんであります。現在は、市の重要課題や計画について、市が方針を説明し、ご意見を伺うワークショップなどの対話の場で、市内の2つの市民ファシリテーター団体に舵取り役をしていただいております。                      今回、このようなご意見をいただきましたので、ご意見を真摯に受け止め、運営に磨きをかけていただくようお願いさせていただきます。                      職員につきましても、市民との対話の場を大切に、市民と協働してまちづくりをすすめるよう、研修を実施するなど、市民に信頼される人材の育成を行ってまいります。</p>	地域振興課

	質問	回答	担当課
20	<p>細江小学校跡地の活用意見交換会では、KJ法による活用意見の整理を行ったが、その時の市からのプレゼン資料には、市からの人口流出が多かった年があったかと思う。</p> <p>①なぜ、流出が多かったのか分析しているのか？ 流出原因に対しての対策がまず必要ではないだろうか？（たぶん、牧之原市のリスクでは？） 当然、魅力あることを推進して、定住・移住を推進するのはいいが、事実の流出リスクの分析、把握が大切かと思う。</p> <p>②学校再編では待機児童クラブ等はどうなるなどの意見がある。（今回の小学校跡地の意見交換会では跡地をどうするか意見収集だが・・・）</p>	<p>意見交換会では、平成7年から令和2年の人口の推移を5年スパンでお示し、平成22年から令和2年の10年間の人口減少が特に大きいとお伝えしました。</p> <p>この間の減少の大きな要因として、1つは、平成23年の東日本大震災の影響があります。震災以降、転出が増加し、平成25年には733人の社会減となりました。</p> <p>これに対しまして市では、津波対策として津波避難タワーや避難地、避難路等の整備を進め、命を守る対策を講じてまいりました。また、細江地区においては、東慶林の津波避難タワーや地域から要望を受け、寄子公民館横に広場を整備しました。その結果、社会減は徐々に回復し、平成29年には2人の増加となりました。</p> <p>次に2つ目として、新型コロナウイルスなどの影響です。令和2年以降は、400人程の社会減となりましたが、令和4年は70人程の増となり、コロナの影響による減少も回復傾向にあります。</p> <p>現在の課題と捉えている若者世代の転出は、結婚、子育て、教育、暮らし、働き方など、さまざまな要因が複合的に絡み合っているものと考えます。</p> <p>このことから、先ほどの説明にもありましたが、第3次総合計画重点プロジェクトでは、住む魅力を高める取り組みを重点的に進め、今いる人の流出を止め、また市外からの流入を促進してまいります。</p> <p>学校再編に伴う放課後児童クラブの設置については、「児童の移動がない」、「周辺（学校）施設が整っていて安全である」ことなどから、学校敷地内へ設置することを基本として考えております。</p> <p>しかし、利用希望者や環境などは変化することから、クラブの規模や設置箇所など、引き続き検討してまいります。</p>	企画政策部
21	<p>法律相談の予約方法は、当日電話予約のみになっているが、予約開始時間の8時30分は会社の朝礼時間と重なっており、朝礼後に電話すると既に予約がいっぱいとなっている。</p> <p>勤め人にとっては、当日予約は難しい。以前は、事前予約ができたと言った。</p> <p>他の相談は事前予約ができるのに、どうして法律相談だけは事前予約ができないのか？</p>	<p>法律相談ですが、ご指摘のとおり、事前予約はできませんでした。</p> <p>市民の皆さまから同様のご意見をいただいておりますので、予約方法について検討した結果、本年度の10月から事前予約を開始する予定です。</p> <p>8月の行政連絡会での班回覧配布依頼・広報8月号への掲載、またホームページ等への掲載も行い周知してまいりますので、よろしくお願いいたします。</p>	市民課
22	<p>家の周囲には4家族5匹の犬がいる。</p> <p>全ての犬が吠える訳ではないが、毎日、犬の鳴き声で悩んでいる。</p> <p>隣同士なので、直接言う事も出来ない。私も家族も犬が好きだし、飼ったことも有るが、毎日高音で長く吠え続けられると苦痛になる。</p> <p>飼っているお宅は、気づいていないのかもしれないが、躰をすれば無駄吠えはしないと思う。</p> <p>以前、野良猫の問題が記事として広報まきのはらに掲載されていた。</p> <p>ペットに関する苦情はたくさんあると思うが、この件について広報誌などでの啓発も含め対策を聞きたい。</p>	<p>市では、動物の愛護と正しい飼い方について、様々な方法により飼い主への啓発や注意、指導を行っております。</p> <p>まず、広報紙やホームページを通じて、定期的に周知・啓発を行っております。ホームページ記事では、犬の無駄吠えをなくすための方策やしつけについて記載し、飼い主へのお願いをしています。広報まきのはらでは毎年数回にわたり動物愛護に関する記事を掲載しておりますが、9月号にも特集記事を掲載予定で、その中でも犬の鳴き声や排せつに関するしつけやマナーについて、呼びかけを行ってまいります。</p> <p>また、市民の方から要望があった場合には、市で作成したペットの飼育マナーのチラシをお渡しし、地区内回覧などに活用をしていただいております。</p> <p>そのほか、苦情の原因となっている飼い主が明確である場合には、市の担当職員が中部保健所の職員と一緒に飼い主を訪問し、適切な管理をしていただくよう直接指導をしております。</p> <p>市に寄せられる犬や猫の苦情のほとんどは、飼い主の「心配り」と「しつけ」により無くすることができると考えますので、引き続き、各種の広報媒体を活用しての啓発を含め、周囲に迷惑をかけないようにするためのお願いをしてまいります。</p>	環境課

	質問	回答	担当課
23	元気な70歳以上の人々が働ける場所が多くなるようにして欲しい。	<p>70歳以上の人たちが働ける場所をという事についてですが、まず、牧之原市シルバー人材センターでは、長年培った豊富な知識・経験・技術等を活かしつつ、仕事や社会奉仕活動などを通じて、自らの生き甲斐と健康維持、仲間とのふれあいを通じて活力ある地域社会の貢献を目標に活動をしています。</p> <p>健康で働く機会が欲しいという会員には、高齢者に向けた安全な仕事を紹介しています。会員の減少により、人出不足とお聞きしておりますので、興味のある方はシルバー人材センターまでご相談いただければと思います。</p> <p>また、長寿介護課では、介護に従事する人材の裾野を広げ、65歳以上の就労を促進し、高齢者の社会参加及び介護予防を図るために「アクティブシニア活躍支援事業」を行っています。この事業は、介護周辺業務を担う介護サポーターとして就労するための「入門的研修」や、身体介護を実施するヘルパーのお手伝いを行う「生活援助従事者研修」を実施し、介護の助手として介護事業所で働くまでのコーディネートも行っています。</p> <p>介護の経験はなくても、70歳以上の方でも「得意なことやできることを活かして働きたい」「介護の知識をつけたい」という方の職場の確保、就労の促進を目指しています。こちらも興味のある方がいらっしゃいましたら、長寿介護課までご相談ください。</p>	長寿介護課 商工観光課
24	二の谷の工事が未完成で中断してしまい、梅雨や台風などを考えると不安になる。「金がなくなった」という話も聞いた。治水には十分な準備、計画が大切。金を蓄えてから工事をスタートすべきではないか？	<p>二ノ谷池の工事については、令和3年度から県営事業として工事に着手し、令和5年度までの工事予定で事業を行っております。</p> <p>現在は令和4年度の工事箇所が完了し、令和5年度は8月発注となる予定です。令和5年度の工事内容としましては、堤体の盛土とフェンス等安全施設の整備を行い、全ての整備が完了する予定です。</p>	お茶振興課
25	時ヶ谷町内会、水浴川の改修をお願いしたい。	<p>水浴川については、一部で大井川用水と並行して流れている区間があり、大雨の際には大井川用水の水が水浴川へ流れ込んでいた可能性もありますので、大井川用水の大雨時の排水方法を見直すことと併せて、水浴川の排水容量の不足がないか調査を行い、不足がある区間が見つかった場合には、改修を行っていきたく考えています。</p>	お茶振興課
26	班の川ざらいを早く終わらせたいとの理由で、朝早く実施している方がいるので、足並みを揃えるようにして欲しい。かといって、終わる時間は同じになっている。また、新参者であると正直わかりにくいので、どこからどこ範囲を決めていただけると参加しやすい。	<p>川ざらいの日時と清掃箇所につきましては、地域で決めていただいております。市で範囲を決めることは行っておりません。</p> <p>統一した時間でやるかどうかについても、区や町内会で決めていただき、周知をお願いします。</p>	建設課
27	一斉清掃以外で側溝、水路内へのヘドロ等、土を簡単な手続きで処分できないか？	<p>区や町内会で実施していただく清掃等で出た土砂等につきましては、その処分費用を市で負担しておりますので、手続等の簡素化につきましては今後、市と処分業者で協議してまいります。</p> <p>この質問だけでは状況がわかりませんので、具体的な案件があればご相談下さい。</p>	建設課
28	凸凹した道路が多いので、定期的に整備して欲しい。	<p>道路の穴埋めや陥没など緊急を要するものは、電話や市の公式LINEからの通報により実施しております。</p> <p>全面的な修繕につきましては、主要な市道は道路パトロールや路面の状況調査により計画的に舗装修繕を実施しており、生活道路などの修繕は、区から要望書を提出していただいたうえで、緊急性などの判断基準により対応しております。</p>	建設課

	質問	回答	担当課
29	<p>細江（東慶林）の150号線と150号線焼津榛原線の交わる日産サニーのところの変則的な信号が、慣れない人には非常に分かりにくく、青なのに進まなかったり、赤なのに前に行きそうになる車を見かける。 また、その200m東のさんあーへ行く交差点に信号機がないが、危険ではないか？ そもそも、この2つの交差点計画段階から問題があったように記憶しているが、このままでいいのか？</p>	<p>交差点の構造、信号機の位置は、島田土木事務所と牧之原警察署で協議し、最善のものと判断して作ったものでありますが、わかりづらく危険というご意見もあります。 市では、交差点の改善について県に要望し、島田土木事務所、大型看板の設置や警察と協議しラバーボールの設置などの安全対策を行っております。 また、さんあーへ行く交差点への信号機設置ですが、交差点間の距離が短いことや従道路（交通量の少ない方の道）の交通量が信号設置基準を満たしていないことから、牧之原警察署からは、信号の新設は難しいとの報告を受けております。</p>	建設課
30	<p>現在、坂部地区にある残土処理場（林地開発許可標識）は、完了予定が令和5年10月31日になっている。 来年度の一斉清掃時等の側溝等からの浚渫土砂を処理する場所はどのようになるか？</p>	<p>坂部地区の残土処分場については、森林法の林地開発の申請基準により3年間の工期設定となっております。実際には、事業の完了までに10年以上の期間が想定されていることから、林地開発については、3年毎に工期延長の変更を行い事業が継続されることとなります。 来年度の土砂の受け入れについては、事業者を確認し、引き続き搬入が可能であると確認しております。</p>	都市住宅課
31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人も子供も誰でも使える公園が欲しい。</li> <li>・細江区に誰でも使える公園が欲しい。</li> </ul>	<p>市の公園整備方針は、「いつでも、誰でも利用できるみんなの場所」として「健康・環境・交流」をキーワードに過ごしやすい公園整備としており、現在、主要三公園（ゆうゆうらんど、小堤山公園、油田の里）の整備やその他公園では遊具の入れ替え、修繕を進めています。細江区内には、主要公園はありませんが、東慶林公園、細江多目的公園（ままやま公園）、中槍公園の三つの公園があり、昨年度、中槍公園に遊具の一つ設置させていただきました。 住宅密集地区である細江地区にも要望はございますし、ニーズもあり、必要であると考えております。 現在、整備計画はございませんが、今後、区の皆さまと設置場所等を含めた構想計画が必要と考えておりますので、検討を進めていきたいと考えております。</p>	公園公共建築課
32	<p>多目的体育館のネーミングライツ・パートナーが「Gas One アリーナ牧之原」に決定したが、今年1月から3月までネーミングライツ・パートナーの募集をして決定したようだが、経緯など、募集はどのように公開され、いくつの応募があり、どのように決定されたのか知りたい。</p>	<p>多目的体育館のネーミングライツ・パートナーの募集については、今年1月～3月まで市のホームページで公募を行い、1者から応募がありました。 事業申込書等を牧之原市多目的体育館ネーミングライツ・パートナー審査委員会で審査を行い、審査基準を満たしたのでパートナーと決定しました。</p>	スポーツ推進課
33	<p>新しい学校づくり勉強会（3/18実施）の講演について、いかなる理由で、同じ人間を何度も講師として招くのか市教委担当者から理由を聞きたい。 3月に坂部区民センターで行われた講演会に講師が登壇したが、この講師の方は、牧之原教委に招かれたのは今回3回目だと言った。 皆で考えるべく重要な案件である学校づくりに、この方に固執する訳は何か？ 将来に向かって多様な考えを持つ子供たちを育てるベースを作成する今、同じ人間を何回も招くのではなく、異なった人物を招き、話を聞き参考にしたい。そのうえで、日本中でどこにもない、輝かしい学校を作っていくのと思う。 講師の話は、常に過度に強調する傾向があり、話半分で聞いておく方が失敗しない。 大人が学ぶ勉強会で、成功例はいくつもあり、そうした処から招くことを考えるべきだと思う。</p>	<p>3月18日に開催した新しい学校づくり勉強会の講師についてです。 この勉強会の講師である京都市立小栗栖中学校の校長先生については、広く市民の方を対象とした講演会の講師としてお招きしたのは初めてとなります。 これまでは、校長をはじめとした教職員対象の研修会の講師としてお招きしたことが2回ありますが、異なる年度に異なる参加者に対して研修をしております。 今回のテーマである義務教育学校は、平成27年の法改正により新しく設置が可能となった学校のため、全国的にまだ学校数が少なく、小学校19,336校、中学校10,076校に対して151校しかありません。牧之原市が目指す複数学級ある義務教育学校となるとさらに数が少ないのが現状です。そのため、義務教育学校をつくる段階から関り、実際に勤務されている方は限られた人数となります。 勉強会の講師は、内容により選定させていただいており、今回の勉強会では、義務教育学校を設置した理由や義務教育学校の実際の子どもの様子について市民の皆様と聞く機会として実施したため、経験がある校長先生にお越しいただいております。 新しい学校づくりには、さまざまな視点からお話を伺うことは大切なことだと考えています。今後も、テーマにより、必要な講師の方を招いてまいりたいと考えております。</p>	学校再編推進室

	質問	回答	担当課
34	<p>学校再編に伴うプールの建設は児童生徒はもちろん、市民も有効に利用できる場所や規模を考えた建設を望む。</p> <p>今までのような考え方で、児童生徒しか使用しない、まして夏季の期間しか使用しないプールを学校を作るのは維持管理的にも無駄だと考える。</p> <p>具体的には、浜岡にある「ぶるる」のような施設を作れば、年間利用でき、一般の利用も可能である。</p> <p>一年中利用できる施設になれば、水泳の授業を夏季に限定することなく、学年や人数を考慮して年間で計画的に利用が可能になる。</p> <p>プールを学校の施設に作っても良いが、仮に学校から離れた場所であっても移動にスクールバスを利用すればよいと考える。</p>	<p>新しい学校につくるプールを市民と共有できるようにしたいというご意見についてです。</p> <p>新しい学校に複合する施設や地域開放する場所については、現在、区長さんをはじめ、保護者や教職員、専門家の方で構成する「新しい学校づくり検討会」において協議しており、子どもたちの利用しやすさを第一に、コストや市民の皆様のニーズと合わせて考えてまいります。</p>	学校再編推進室
35	<p>議会議事録が読みにくい。</p> <p>近隣市町（静岡市、吉田町、焼津市、藤枝市、島田市）の議事録で最低レベルである。</p> <p>議事録の行間が狭く、5分も読めば目が疲れてしまい、読むことをやめてしまう。</p> <p>昔から変わっていない。</p>	<p>文字のフォントサイズを大きくし、行間隔を広くすることで読みやすい議事録となるよう工夫をまいります。</p>	議会事務局
36	<p>市議会議員の政務活動費が無い現状についてどう考えているか？</p> <p>そもそも市民からの負託を受けて議員として活動するためには、足を運んで直接目を見て調査をしていかなければならない。</p> <p>そのためには、活動費として政務活動費を支給することが当然である。</p> <p>現状の議員報酬では、若い人が議員に立候補することはほとんど不可能である。</p> <p>会社勤めを辞めて議員になっても、その先は生活苦。そんな声も聞かれる。</p> <p>ある時は行政を監視し、またある時は行政に協力するという健全な議会運営を行うためにも、議員報酬を上げ、政務活動費も支給して、生活を保障しなければならない。</p> <p>若い方が生活に不安なく被選挙権を行使できるように報酬を改善すべきである。</p>	<p>議員報酬及び政務活動費については、議会で決定することとなっています。</p> <p>同じお考えを持たれている議員さんの声もあり、現在、議会において検討をしております。</p>	議会事務局

## 「市民トーク（細江地区）」の当日参加者による質問

※会場での質疑応答になりますので、標記が口語体になる場合があります。

### 追加質問 1 沢垂川の改修について

細江地区は浸水対策が重要だという事だが、7番目の回答に、沢垂川の改修完了が令和18年度とある。

どういうことか？

#### 【回答（市長）】

現在、市の単独ではなく県の補助金を使って整備をしている。

国庫補助事業への格上げをお願いしているが、採択要件に当たらないということであり、県の補助制度を使っている。

予算に関しては、県の補助金を見ながら行っているが、おっしゃる通り、令和18年度は私も全く遅いと思っている。

ただ、年次の改修で浸水の解消は順次効果が出てくると思っている。

いずれにせよ、整備に関する予算確保について、県にしっかりと要望を行い、令和18年度ということだが、少しでも早く完成できるように努めていきたいと考えている。